

平成28年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	国道東静岡清水線			事業者名	しずてつジャストライン株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	東静岡駅 北口		清水駅		
系統キロ程 (km)	7.9		輸送量 (人/日)	17.2	
平均乗車密度 (人/便)	1.6		運行回数 (回/日)	10.8	
公共・拠点 アクセス 状況 施設	学校	清水国際高校、清水学院実務高等専修学校、清水江尻小学校、静岡サレジオ小学校・高校、科学技術高校			
	病院				
	商業施設	マークイズ静岡			
	その他	JR清水・草薙・東静岡駅、静岡鉄道古庄・長沼駅、清水文化会館、清水税務署、ハートピア清水、静岡市辻生涯学習交流館、清水警察署、清水保健センター、県警本部清水分庁舎、国土交通省静岡運輸支局			
収支率 (%) (収益/費用)	28.9		乗車人員 (人)	40,432	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点2 バス停2	名称	拠点：JR東静岡、清水駅 バス停：大手町、清水税務署		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	22.6				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・路線沿線住宅地へのポスティング活動 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ホームページへの情報掲載 ・深夜急行便実施（全6路線） ・しずてつ沿線ウォーキングの開催 ・バスフェスタの開催 ・乗継割引の導入 ・ICカード電子マネー機能搭載 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導） ・燃料使用量の削減（車両搭載燃料を抑制） ・経費管理体制の強化 ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し ・外注修繕の削減 				
沿線市町の サポート	<p>【静岡市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者の増収策等実施における利用者への周知・広報活動を支援する。 （バスフェスタの共催、市内転入者へのバス路線図の配布、超低床ノンステップバス導入への補助） ・静岡市バス交通計画に基づき、効率的・効果的なバス路線網再編に向け、事業者と連携し、取組を支援していく。 				
利用 実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成28年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	三保草薙線			事業者名	しずてつジャストライン株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	折戸車庫	草薙団地 県大前	折戸車庫		
系統キロ程 (km)	24.8	輸送量 (人/日)	48.7		
平均乗車密度 (人/便)	4.6	運行回数 (回/日)	10.6		
公共・拠点 アクセス 状況	学校	静岡県立大学、東海大学、東海大学附属翔洋高校、清水三保第二小学校、清水海上技術短期大学校、清水南高校、清水駒越小学校、清水第四中学校、清水船越小学校、清水有度第一小学校、清水第七中学校			
	病院	市立清水病院、清水駿府病院			
	商業施設	ベイドリーム清水、イオン清水店			
	その他	清水南部交流センター、静岡市しみず社会福祉事業団、駒越生涯学習交流館、日本平動物園公園、船越生涯学習交流館、草薙スポーツ広場、JR草薙駅、静岡鉄道狐ヶ崎駅、御門台駅、草薙スポーツ広場			
収支率 (%) (収益/費用)	55.3		乗車人員 (人)	147,620	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点1 バス停3	名称	拠点：JR草薙駅 バス停：福祉センター入口、静岡市立清水病院、折戸車庫		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	6.0				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・路線沿線住宅地へのポスティング活動 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ホームページへの情報掲載 ・深夜急行便実施（全6路線） ・しずてつ沿線ウォーキングの開催 ・バスフェスタの開催 ・乗継割引の導入 ・ICカード電子マネー機能搭載 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導） ・燃料使用量の削減（車両搭載燃料を抑制） ・経費管理体制の強化 ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し ・外注修繕の削減 				
沿線市町の サポート	<p>【静岡市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者の増収策等実施における利用者への周知・広報活動を支援する。 （バスフェスタの共催、市内転入者へのバス路線図の配布、超低床ノンステップバス導入への補助） ・静岡市バス交通計画に基づき、効率的・効果的なバス路線網再編に向け、事業者と連携し、取組を支援していく。 				
利用 実態	<p>系統キロ程(km) 50 150 輸送量(人/日)</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 30 運行回数(回/日)</p> <p>300,000 乗車人員(人) 100 収支率(%)</p>				

平成28年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	五十海大住線			事業者名	しずてつジャストライン株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	清里	西焼津駅	焼津市立病院		
系統キロ程 (km)	12.4	輸送量 (人/日)	45.9		
平均乗車密度 (人/便)	3.8	運行回数 (回/日)	12.1		
公共・拠点施設状況	学校	静岡福祉大学、大富小・中学校、豊田小学校、焼津中央高校、藤枝西高校、西益津小・中学校、藤枝北高校、藤枝学院実務高等専修学校、藤枝東高校、藤枝小学校、藤岡小学校			
	病院	焼津市立総合病院			
	商業施設	イオン焼津店			
	その他	JR西焼津駅、焼津警察署、焼津市総合体育館			
収支率 (%) (収益/費用)	57.6		乗車人員 (人)	137,105	
乗換可能なアクセス拠点等	拠点2 バス停2	名称	拠点：JR西焼津駅、焼津市立病院前 バス停：藤枝大手、東名焼津西		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	37.0				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・路線沿線住宅地へのポスティング活動 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ホームページへの情報掲載 ・深夜急行便実施（全6路線） ・しずてつ沿線ウォーキングの開催 ・バスフェスタの開催 ・乗継割引の導入 ・ICカード電子マネー機能搭載 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導） ・燃料使用量の削減（車両搭載燃料を抑制） ・経費管理体制の強化 ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し ・外注修繕の削減 				
沿線市町のサポート	<p>【焼津市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平均乗車密度 5 人未満による国庫補助減額分を関係市（藤枝市）とともに負担し、路線維持する。 ・市作成の自主運行バス路線図に当該路線を掲載。 ・市ホームページに上記路線図及び運行事業者ホームページへのリンクを設定し、住民への周知を図る。 ・路線バスを含めた市内バス路線の現状に関する記事を広報紙に掲載し、利用促進を図る。 <p>【藤枝市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年度市内全戸配布する藤枝市バスマップ・時刻表に当該路線も掲載しており、同マップの藤枝市ホームページへの掲載、市内公共施設等での配布、転入者への配布等により周知を図っている。 ・平均乗車密度 5 人未満による国庫補助額減額分について、関係市町（焼津市）とともに負担している。 				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50</p> <p>輸送量(人/日) 150</p> <p>平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>運行回数(回/日) 30</p> <p>収支率(%) 100</p> <p>乗車人員(人) 300,000</p> <p>広域利用状況(%) 100</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20</p>				

平成28年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	焼津岡部線			事業者名	しずてつジャストライン株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	焼津駅前		岡部営業所		
系統キロ程 (km)	7.2	輸送量 (人/日)	75.2		
平均乗車密度 (人/便)	3.5	運行回数 (回/日)	21.5		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	焼津高校、岡部小学校			
	病院	焼津駅前健康センター			
	商業施設	J A 大井川岡部			
	その他	JR焼津駅、関方社会体育広場、藤枝市岡部支所			
収支率 (%) (収益/費用)	62.4		乗車人員 (人)	108,566	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点1 バス停2	名称	拠点：JR焼津駅 バス停：藤枝市岡部支所前、坂本		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	59.9				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・路線沿線住宅地へのポスティング活動 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ホームページへの情報掲載 ・深夜急行便実施（全6路線） ・しずてつ沿線ウォーキングの開催 ・バスフェスタの開催 ・乗継割引の導入 ・ICカード電子マネー機能搭載 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導） ・燃料使用量の削減（車両搭載燃料を抑制） ・経費管理体制の強化 ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し ・外注修繕の削減 				
沿線市町の サポート	<p>【焼津市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平均乗車密度5人未満による国庫補助減額分を関係市（藤枝市）とともに負担し、路線維持する。 ・市作成の自主運行バス路線図に当該路線を掲載。 ・市ホームページに上記路線図及び運行事業者ホームページへのリンクを設定し、住民への周知を図る。 ・路線バスを含めた市内バス路線の現状に関する記事を広報紙に掲載し、利用促進を図る。 <p>【藤枝市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年度市内全戸配布する藤枝市バスマップ・時刻表に当該路線も掲載しており、同マップの藤枝市ホームページへの掲載、市内公共施設等での配布、転入者への配布等により周知を図っている。 ・平均乗車密度5人未満による国庫補助減額分について、関係市町（焼津市）とともに負担している。 				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成28年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	藤枝吉永線			事業者名	しずてつジャストライン株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	藤枝市立総合病院	高洲小学校	飯淵		
系統キロ程 (km)	14.7		輸送量 (人/日)	55.0	
平均乗車密度 (人/便)	4.4		運行回数 (回/日)	12.5	
アクセス状況	学校	大井川南小学校、大井川東小学校、清流館高校、高洲小・中学校、静岡産業大学			
	病院	藤枝市立総合病院			
	商業施設	BiVi藤枝			
	その他	JR藤枝駅、大井川福祉センター、焼津市大井川庁舎、大井川図書館、県藤枝総合庁舎			
収支率 (%) (収益/費用)	60.1		乗車人員 (人)	148,116	
乗換可能なアクセス拠点等	拠点1 バス停6	名称	拠点：JR藤枝駅 バス停：飯淵、吉永辻、静浜基地入口、宗高新町、市民体育館前、藤枝市立総合病院		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	33.1				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・路線沿線住宅地へのポスティング活動 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ホームページへの情報掲載 ・深夜急行便実施（全6路線） ・しずてつ沿線ウォーキングの開催 ・バスフェスタの開催 ・乗継割引の導入 ・ICカード電子マネー機能搭載 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導） ・燃料使用量の削減（車両搭載燃料を抑制） ・経費管理体制の強化 ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し ・外注修繕の削減 				
沿線市町のサポート	<p>【焼津市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平均乗車密度5人未満による国庫補助減額分を関係市（藤枝市）とともに負担し、路線維持する。 ・市作成の自主運行バス路線図に当該路線を掲載。 ・市ホームページに上記路線図及び運行事業者ホームページへのリンクを設定し、住民への周知を図る。 ・路線バスを含めた市内バス路線の現状に関する記事を広報紙に掲載し、利用促進を図る。 <p>【藤枝市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年度市内全戸配布する藤枝市バスマップ・時刻表に当該路線も掲載しており、同マップの藤枝市ホームページへの掲載、市内公共施設等での配布、転入者への配布等により周知を図っている。 ・平均乗車密度5人未満による国庫補助額減額分について、関係市町（焼津市）とともに負担している。 				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成28年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	島田静波線			事業者名	しずてつジャストライン株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	島田駅	榛原病院 入口	静波海岸 入口		
系統キロ程 (km)	20.4		輸送量 (人/日)	41.8	
平均乗車密度 (人/便)	5.1		運行回数 (回/日)	8.2	
アクセスポイント状況	学校	川崎小学校、榛原高校、細江小学校、住吉小学校、中央小学校、吉田中学校、自疆小学校、倉橋学園輝高校、初倉小・中学校、初倉南小学校、島田商業高校、島田第五小学校			
	病院	榛原総合病院			
	商業施設	アビタ島田店			
	その他	牧之原市役所、健康福祉センター分庁舎、牧之原警察署、吉田町役場、島田市民会館、島田市役所、島田図書館、JR島田駅			
収支率 (%) (収益/費用)	60.2		乗車人員 (人)	84,032	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点4 バス停2	名称	拠点：JR島田駅、静波海岸入口、榛原総合病院、吉田IC入口 バス停：井口堺、色尾		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	58.4				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・路線沿線住宅地へのポスティング活動 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ホームページへの情報掲載 ・深夜急行便実施（全6路線） ・しずてつ沿線ウォーキングの開催 ・バスフェスタの開催 ・乗継割引の導入 ・ICカード電子マネー機能搭載 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導） ・燃料使用量の削減（車両搭載燃料を抑制） ・経費管理体制の強化 ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し ・外注修繕の削減 				
沿線市町のサポート	<p>【島田市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●島田市地域公共交通総合連携計画 <p>本市の交通体系の軸となる路線として、路線の維持支援を掲げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●利用促進のための取り組み <p>バスの日に関して、市の広報紙に路線バスの現状を紹介し、市民の利用を促す記事を掲載するなどして、利用促進を図る。また、イベントでのバス車両の展示やパーパークラフトの配布、バスロケーションシステムのデモによるバス利用に関するPRを行う。</p> <p>バスマップを作成し、島田市自主運行路線の時刻表とともに、「島田静波線」をはじめとした民間路線等の時刻表を掲載し、公共交通相互間の連携による利用促進を図る。また、しずてつジャストライン(株)で販売している「大御所バス」を平成28年度から島田地区の自主運行バス（コミバス）でも利用できるようにし、公共交通相互間の連携による利用促進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●補助金の交付 <p>島田静波線へ国、県からの補助金の一部カット分について、平成29年度から2市1町（島田市、牧之原市、吉田町）で補填する。</p> <p>【牧之原市】</p> <p>28年度は、29年度以降の関係市町による欠損補助について、事業者、市町間で協議を行った。また、市職員に対して出張時のバス利用を促した。当路線は、通勤者、学生等にとって欠かすことのできない路線であるため、事業者、関係市町と連携し運行継続・維持を行う。継続維持に当たり、市ホームページや広報紙などを活用し乗車促進を図る。</p> <p>【吉田町】</p> <p>当路線は、通勤者、学生等にとって欠かすことのできない路線であることから、路線を維持・確保するために事業者と連携し利便性の向上に努めるとともに、事業者の負担軽減に努める。</p>				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成28年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	島田静波線			事業者名	しずてつジャストライン株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	島田市民病院	島田駅	静波海岸入口		
系統キロ程 (km)	22.7		輸送量 (人/日)	37.4	
平均乗車密度 (人/便)	5.2		運行回数 (回/日)	7.2	
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	川崎小学校、榛原高校、細江小学校、住吉小学校、中央小学校、吉田中学校、自福小学校、倉橋学園高校、初倉小・中学校、初倉南小学校、島田商業高校、島田第五小学校、島田第二小・中学校、島田中学校、島田第四小学校、市立看護専門学校			
	病院	榛原総合病院、島田市民病院			
	商業施設	アピタ島田店			
	その他	牧之原市役所、牧之原警察署、吉田町役場、島田市民会館、島田市役所、島田図書館、JR島田駅、島田年金事務所、静岡家裁出張所、健康福祉センター分庁舎			
収支率 (%) (収益/費用)	59.9		乗車人員 (人)	98,010	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点4 バス停5	名称	拠点：JR島田駅、静波海岸入口、榛原総合病院、吉田IC入口 バス停：井口堺、色尾、本通三丁目、保健福祉センター、島田市民病院		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	46.9				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・路線沿線住宅地へのポスティング活動 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ホームページへの情報掲載 ・深夜急行便実施（全6路線） ・しずてつ沿線ウォーキングの開催 ・バスフェスタの開催 ・乗継割引の導入 ・ICカード電子マネー機能搭載 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導） ・燃料使用量の削減（車両搭載燃料を抑制） ・経費管理体制の強化 ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し ・外注修繕の削減 				
沿線市町の サポート	<p>【島田市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●島田市地域公共交通総合連携計画 <p>本市の交通体系の軸となる路線として、路線の維持支援を掲げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●利用促進のための取り組み <p>バスの日に関して、市の広報紙に路線バスの現状を紹介し、市民の利用を促す記事を掲載するなどして、利用促進を図る。また、イベントでのバス車両の展示やパークラフトの配布、バスロケーションシステムのデモによるバス利用に関してのPRを行う。</p> <p>バスマップを作成し、島田市自主運行路線の時刻表とともに、「島田静波線」をはじめとした民間路線等の時刻表を掲載し、公共交通相互間の連携による利用促進を図る。また、しずてつジャストライン(株)で販売している「大御所バス」を平成28年度から島田地区の自主運行バス（コミバス）でも利用できるようにし、公共交通相互間の連携による利用促進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●補助金の交付 <p>島田静波線へ国、県からの補助金の一部カット分について、平成29年度から2市1町（島田市、牧之原市、吉田町）で補填する。</p> <p>【牧之原市】</p> <p>28年度は、29年度以降の関係市町による欠損補助について、事業者、市町間で協議を行った。また、市職員に対して出張時のバス利用を促した。当路線は、通勤者、学生等にとって欠かすことのできない路線であるため、事業者、関係市町と連携し運行継続・維持を行う。継続維持に当たり、市ホームページや広報紙などを活用し乗車促進を図る。</p> <p>【吉田町】</p> <p>当路線は、通勤者、学生等にとって欠かすことのできない路線であることから、路線を維持・確保するために事業者と連携し利便性の向上に努めるとともに、事業者の負担軽減に努める。</p>				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成28年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	藤枝相良線			事業者名	しずてつジャストライン株式会社	
路線の状況	起点	経由地	終点			
	藤枝駅南口	静波海岸入口	相良営業所			
系統キロ程 (km)	24.6		輸送量 (人/日)	86.7		
平均乗車密度 (人/便)	4.7		運行回数 (回/日)	14.2		
公共施設状況	学校	相良小・中学校、相良高校、片浜小学校、川崎小学校、榛原高校、細江小学校、吉田中学校、自疆小学校、倉橋学園輝高校、清流館高校、高洲南小学校、藤枝順心高校				
	病院	榛原総合病院				
	商業施設	アピタ藤枝店、BiVi藤枝				
	その他	牧之原市役所相良庁舎、牧之原市役所、牧之原警察署、吉田町役場、藤枝市南警察署、県立武道館、JR藤枝駅、健康福祉センター分庁舎				
収支率 (%) (収益/費用)	53.8		乗車人員 (人)	172,742		
乗換可能なアクセス拠点等	拠点4 バス停3	名称	拠点：JR藤枝駅、相良営業所、静波海岸入口、榛原総合病院 バス停：富士見橋、宗高新町、東名大井川			
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	42.4					
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・路線沿線住宅地へのポスティング活動 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ホームページへの情報掲載 ・深夜急行便実施（全6路線） ・しずてつ沿線ウォーキングの開催 ・バスフェスタの開催 ・乗継割引の導入 ・ICカード電子マネー機能搭載 					
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる、燃費改善の為に指導） ・燃料使用量の削減（車両搭載燃料を抑制） ・経費管理体制の強化 ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し ・外注修繕の削減 					
沿線市町のサポート	<p>【焼津市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平均乗車密度 5 人未満による国庫補助減額分を関係市（藤枝市）とともに負担し、路線維持する。 ・市作成の自主運行バス路線図に当該路線を掲載。 ・市ホームページに上記路線図及び運行事業者ホームページへのリンクを設定し、住民への周知を図る。 ・路線バスを含めた市内バス路線の現状に関する記事を広報紙に掲載し、利用促進を図る。 <p>【藤枝市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年度市内全戸配布する藤枝市バスマップ・時刻表に当該路線も掲載しており、同マップの藤枝市ホームページへの掲載、市内公共施設等での配布、転入者への配布等により周知を図っている。 ・平均乗車密度 5 人未満による国庫補助減額分について、関係市町（焼津市）とともに負担している。 <p>【牧之原市】</p> <p>28年度は、29年度以降の関係市町による欠損補助について、事業者、市町間で協議を行った。また、市職員に対して出張時のバス利用を促した。当該路線は、通勤者、学生等にとって欠かすことのできない路線であるため、事業者、関係市町と連携し運行継続・維持を行う。継続維持に当たり、市ホームページや広報紙などを活用し乗車促進を図る。</p> <p>【吉田町】</p> <p>当該路線は、通勤者、学生等にとって欠かすことのできない路線であることから、路線を維持・確保するために事業者と連携し利便性の向上に努めるとともに、事業者の負担軽減に努める。</p>					
利用実態						

平成28年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	菊川浜岡線			事業者名	しずてつジャストライン株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	菊川駅前	菊川市立総合病院	浜岡営業所		
系統キロ程 (km)	17.5	輸送量 (人/日)	32.6		
平均乗車密度 (人/便)	4.3	運行回数 (回/日)	7.6		
アクセスポイント状況	学校	常葉学園菊川高校、菊川西中、加茂小学校、六郷小学校、小笠高校、横地小学校、小笠北小学校、岳洋中学校、小笠南小学校、菊川南陵高校、第一小学校、池新田高校、中遠調理師家政専門学校、浜岡中学校			
	病院	菊川市立総合病院、笠南医療センター			
	商業施設				
	その他	菊川市役所、菊川文化会館、菊川警察署、小笠図書館、市役所支所、総合体育館、浜岡総合運動場、御前崎市役所、JR菊川駅			
収支率 (%) (収益/費用)	52.4		乗車人員 (人)	54,112	
乗換可能なアクセス拠点等	拠点2 バス停0	名称	拠点：浜岡営業所、JR菊川駅		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	37.4				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・路線沿線住宅地へのポスティング活動 ・全国IC相互利用の導入 (2013年3月より) ・ホームページへの情報掲載 ・深夜急行便実施 (全6路線) ・しずてつ沿線ウォーキングの開催 ・バスフェスタの開催 ・乗継割引の導入 ・ICカード電子マネー機能搭載 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善 (デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導) ・燃料使用量の削減 (車両搭載燃料を抑制) ・経費管理体制の強化 ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し ・外注修繕の削減 				
沿線市町のサポート	<p>【御前崎市】 当路線は、通勤者、学生等にとって欠かすことのできない路線であるため、事業者と連携し運行継続・維持を行う。継続維持に当たり、市ホームページや広報紙などを活用し乗車促進を図る。</p> <p>【菊川市】 ・市HPへの情報掲載を行った。 ・菊川市立病院での路線バスとコミュニティバス間の乗換えの時間調整を行っている。</p>				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成28年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	掛川大東浜岡線			事業者名	しずてつジャストライン株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	掛川駅前	井崎	浜岡 営業所		
系統キロ程 (km)	24.1	輸送量 (人/日)	25.2		
平均乗車密度 (人/便)	2.5	運行回数 (回/日)	10.1		
アクセスポイント状況	学校	掛川西高校、掛川第一小学校、上内田小学校、佐東小学校、東京女子医科大学、城東中学校、大坂小学校、大浜中学校、千浜小学校、第一小学校、池新田高校、浜岡中学校、中遠調理師家政専門学校			
	病院	笠南医療センター			
	商業施設				
	その他	掛川市立中央図書館、掛川税務署、掛川市大東支所、御前崎市役所、JR掛川駅、天竜浜名湖鉄道掛川駅			
収支率 (%) (収益/費用)	31.4		乗車人員 (人)	65,849	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点3 バス停1	名称	拠点：掛川駅、浜岡営業所、掛川市大東支所 バス停：第一小学校前		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	60.5				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・路線沿線住宅地へのポスティング活動 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ホームページへの情報掲載 ・深夜急行便実施（全6路線） ・しずてつ沿線ウォーキングの開催 ・バスフェスタの開催 ・乗継割引の導入 ・ICカード電子マネー機能搭載 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導） ・燃料使用量の削減（車両搭載燃料を抑制） ・経費管理体制の強化 ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し ・外注修繕の削減 				
沿線市町のサポート	<p>【掛川市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回のノーカーデーでのバス等公共交通利用呼びかけを行った。 ・市ホームページから時刻表等バス情報へのリンクを行った。 ・中東遠総合医療センター受診者への復路運賃助成を行った。 ・助成制度について、沿線地区へ説明及び再周知を行った。 ・沿線市町による補助を行った。 <p>【御前崎市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当路線は、通勤者、学生等にとって欠かすことのできない路線であるため、事業者と連携し運行継続・維持を行う。継続維持に当たり、市ホームページや広報紙などを活用し乗車促進を図る。 また、当路線を維持するバス事業者に対し、欠損分の一部について補助を行った。 				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

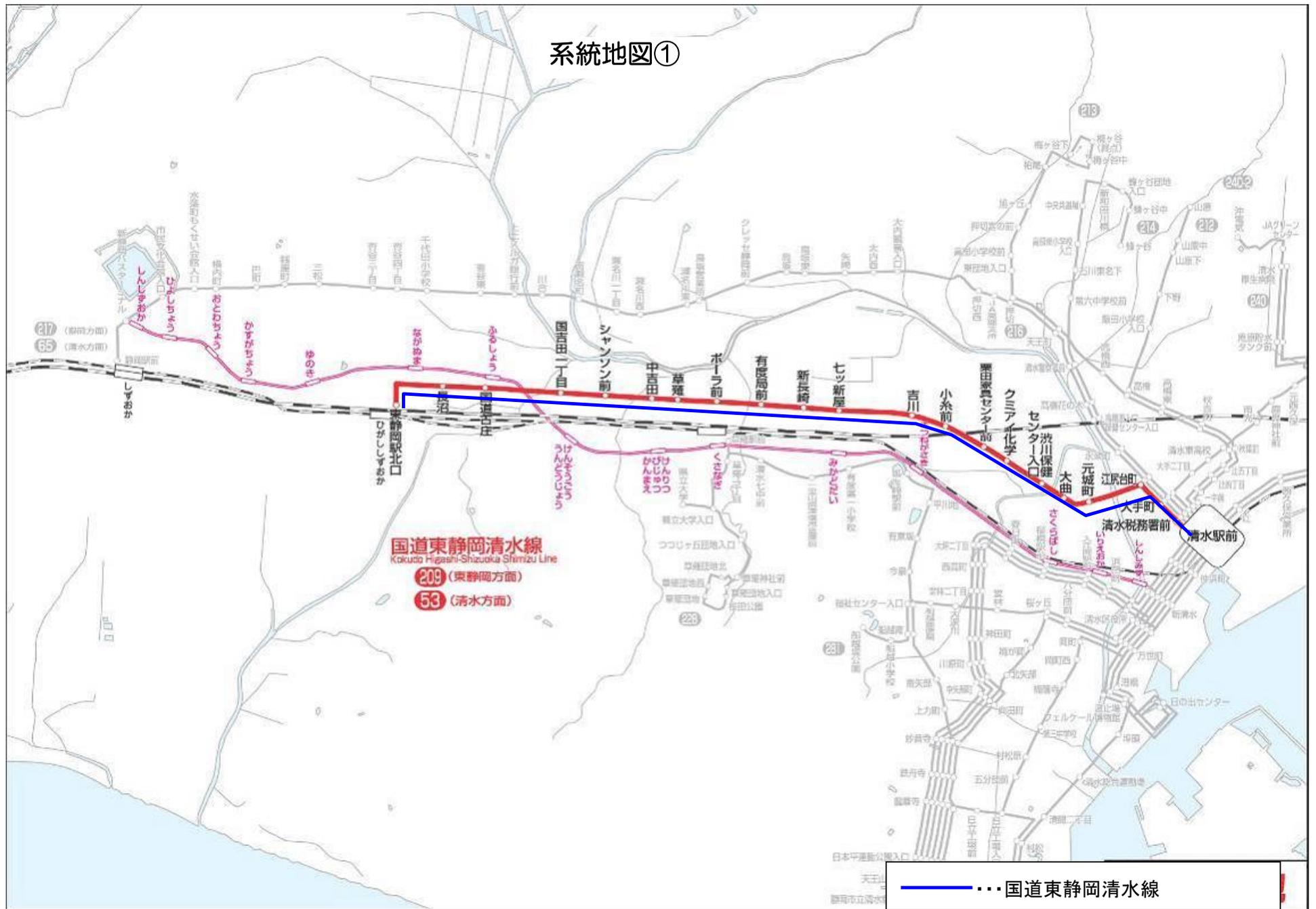
平成28年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	掛川大東浜岡線			事業者名	しずてつジャストライン株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	中東遠総合医療センター	掛川駅前 井崎	浜岡 営業所		
系統キロ程 (km)	28.5		輸送量 (人/日)	33.4	
平均乗車密度 (人/便)	5.4		運行回数 (回/日)	6.2	
アクセス状況	学校	掛川東高校、中央小学校、掛川西高校、掛川第一小学校、上内田小学校、佐栄小学校、東京女子医科大学、城東中学校、大坂小学校、大浜中学校、千浜小学校、第一小学校、池新田高校、浜岡中学校、中遠調理師家政専門学校			
	病院	中東遠総合医療センター、笠南医療センター			
	商業施設				
	その他	掛川年金事務所、掛川法務合同庁舎、掛川市立中央図書館、掛川税務署、掛川市大東支所、御前崎市役所、J R掛川駅、天竜浜名湖鉄道掛川駅、			
収支率 (%) (収益/費用)	62.0		乗車人員 (人)	77,198	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点4 バス停1	名称	拠点：中東遠総合医療センター、掛川駅、浜岡営業所、掛川市大東支所 バス停：第一小学校前		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	59.9				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・J R運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・路線沿線住宅地へのポスティング活動 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ホームページへの情報掲載 ・深夜急行便実施（全6路線） ・しずてつ沿線ウォーキングの開催 ・バスフェスタの開催 ・乗継割引の導入 ・ICカード電子マネー機能搭載 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導） ・燃料使用量の削減（車両搭載燃料を抑制） ・経費管理体制の強化 ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し ・外注修繕の削減 				
沿線市町のサポート	<p>【掛川市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回のノーカーデーでのバス等公共交通利用呼びかけを行った。 ・市ホームページから時刻表等バス情報へのリンクを行った。 ・中東遠総合医療センター受診者への復路運賃助成を行った。 ・助成制度について、沿線地区へ説明及び再周知を行った。 ・沿線市町による補助を行った。 <p>【御前崎市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当路線は、通勤者、学生等にとって欠かすことのできない路線であるため、事業者と連携し運行継続・維持を行う。継続維持に当たり、市ホームページや広報紙などを活用し乗車促進を図る。 また、当路線を維持するバス事業者に対し、欠損分の一部について補助を行った。 				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成28年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	掛川大東浜岡線			事業者名	しずてつジャストライン株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	掛川駅前	井崎	大東支所		
系統キロ程 (km)	15.5	輸送量 (人/日)	21.7		
平均乗車密度 (人/便)	3.4	運行回数 (回/日)	6.4		
アクセスポイント状況	学校	掛川西高校、掛川第一小学校、上内田小学校、佐東小学校、東京女子医科大学、城東中学校、大坂小学校、大浜中学校			
	病院				
	商業施設				
	その他	掛川市立中央図書館、掛川税務署、掛川市大東支所、JR掛川駅、天竜浜名湖鉄道掛川駅			
収支率 (%) (収益/費用)	45.1		乗車人員 (人)	29,254	
乗換可能なアクセス拠点等	拠点2 バス停0	名称	拠点：掛川駅、掛川市大東支所		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	80.3				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・路線沿線住宅地へのポスティング活動 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ホームページへの情報掲載 ・深夜急行便実施（全6路線） ・しずてつ沿線ウォーキングの開催 ・バスフェスタの開催 ・乗継割引の導入 ・ICカード電子マネー機能搭載 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導） ・燃料使用量の削減（車両搭載燃料を抑制） ・経費管理体制の強化 ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し ・外注修繕の削減 				
沿線市町のサポート	<p>【掛川市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回のノーカーデーでのバス等公共交通利用呼びかけを行った。 ・市ホームページから時刻表等バス情報へのリンクを行った。 ・中東遠総合医療センター受診者への復路運賃助成を行った。 ・助成制度について、沿線地区へ説明及び再周知を行った。 ・国県補助減額分に対する補助を行った。 				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所)20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

系統地図①



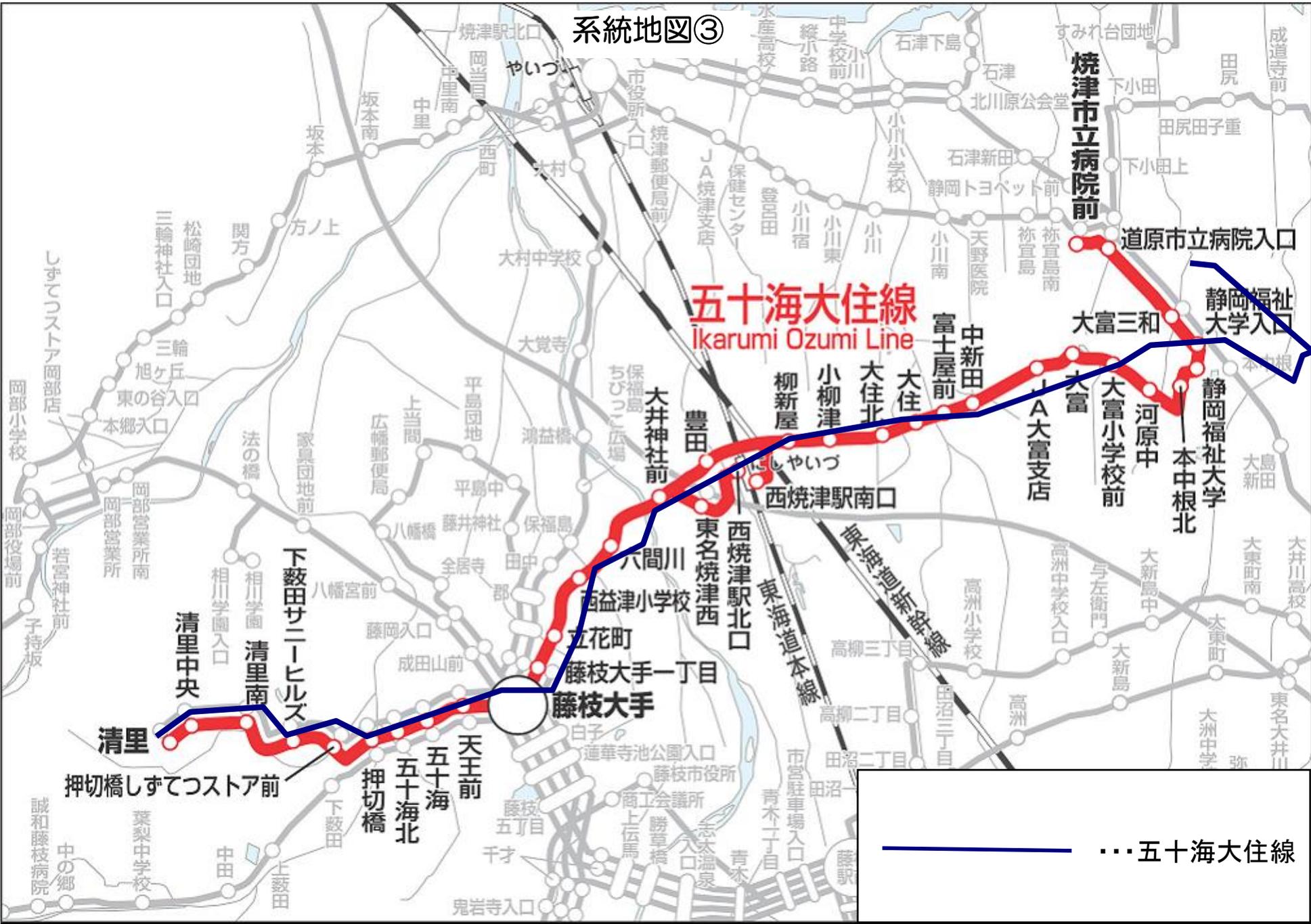
系統地図②



— 三保草薙線

系統地図③

五十海大住線
Ikarumi Ozumi Line



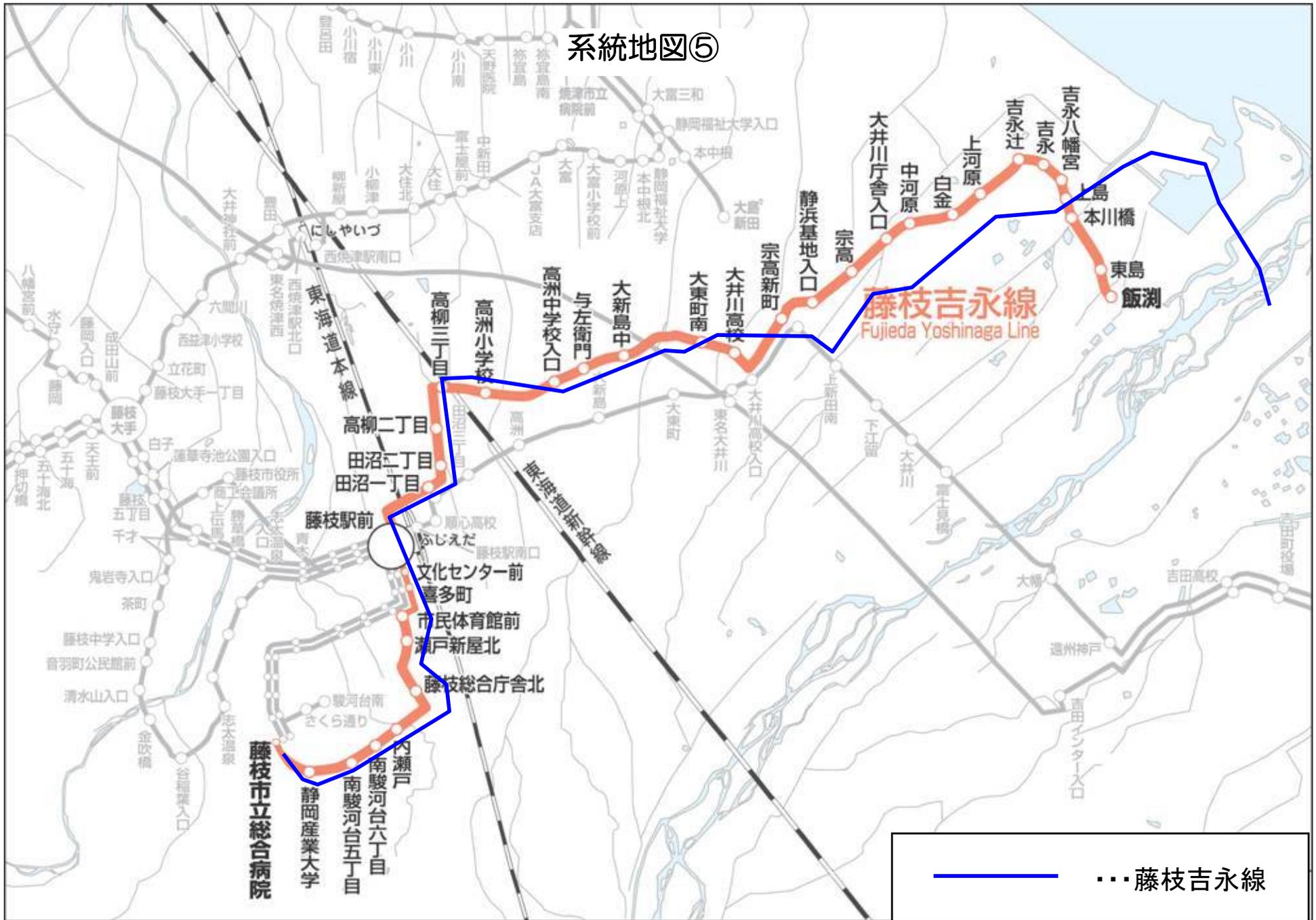
— 五十海大住線

系統地図④

焼津岡部線
Yaizu Okabe Line



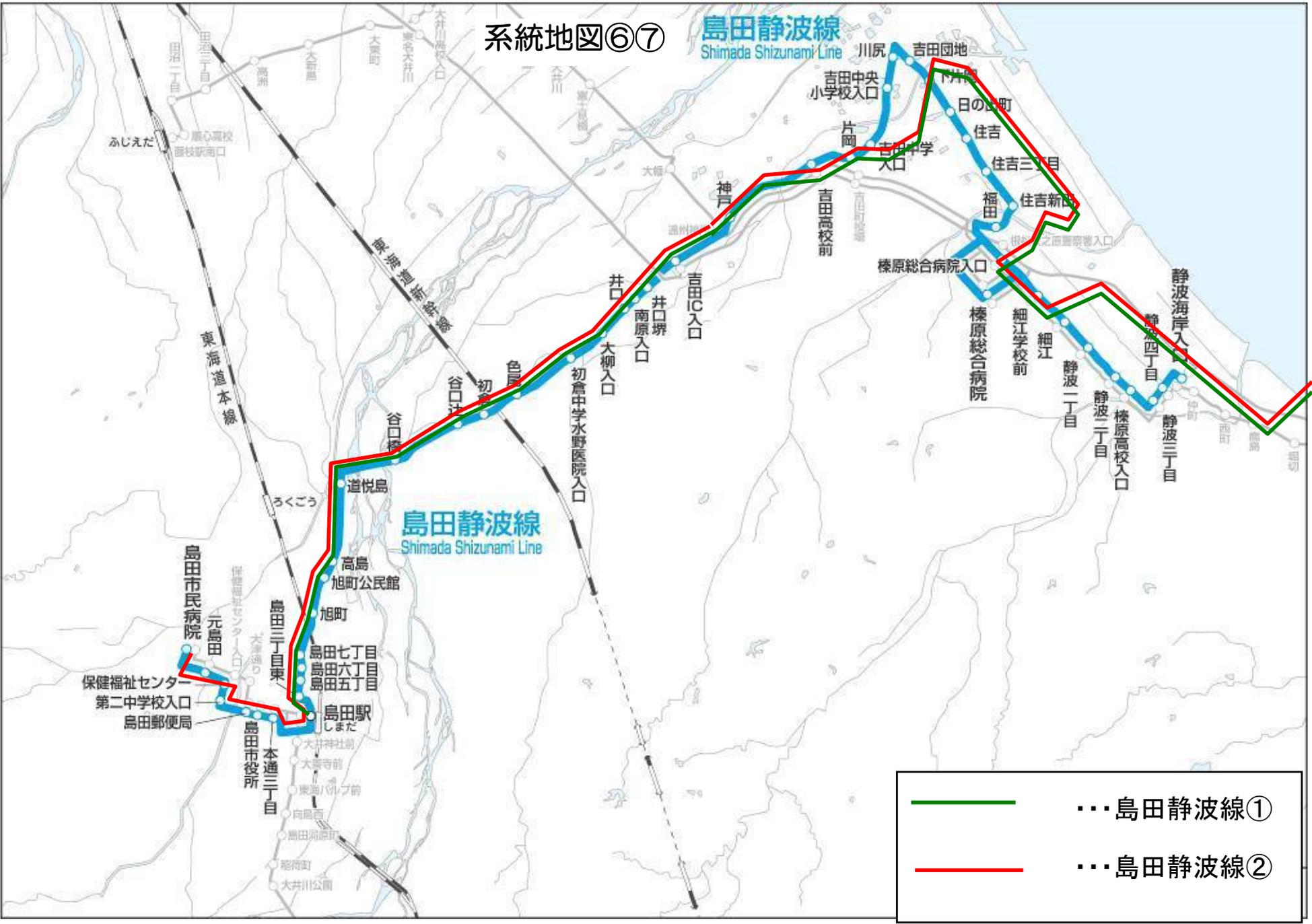
系統地図⑤



系統地図⑥⑦

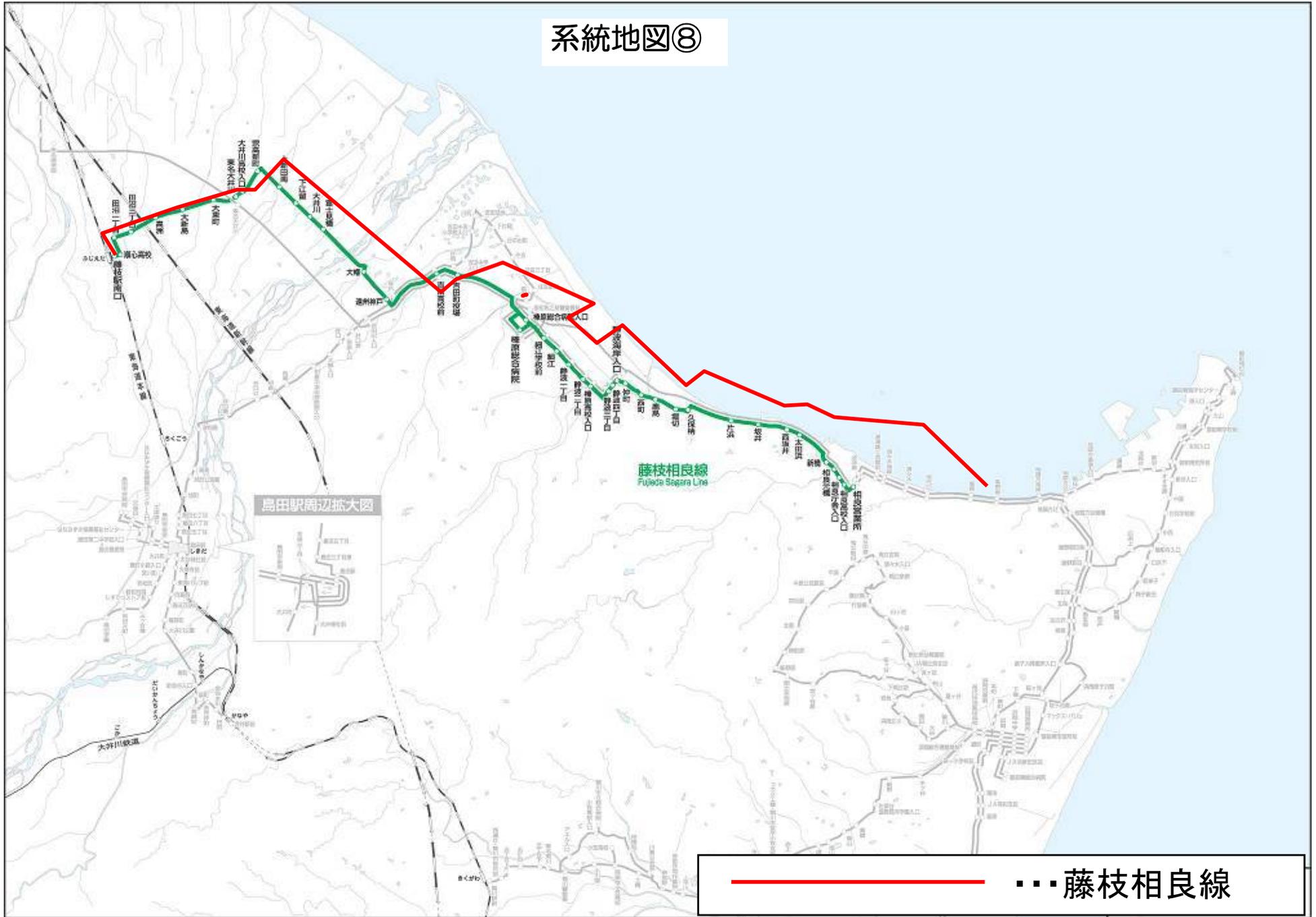
島田静波線
Shimada Shizunami Line

島田静波線
Shimada Shizunami Line



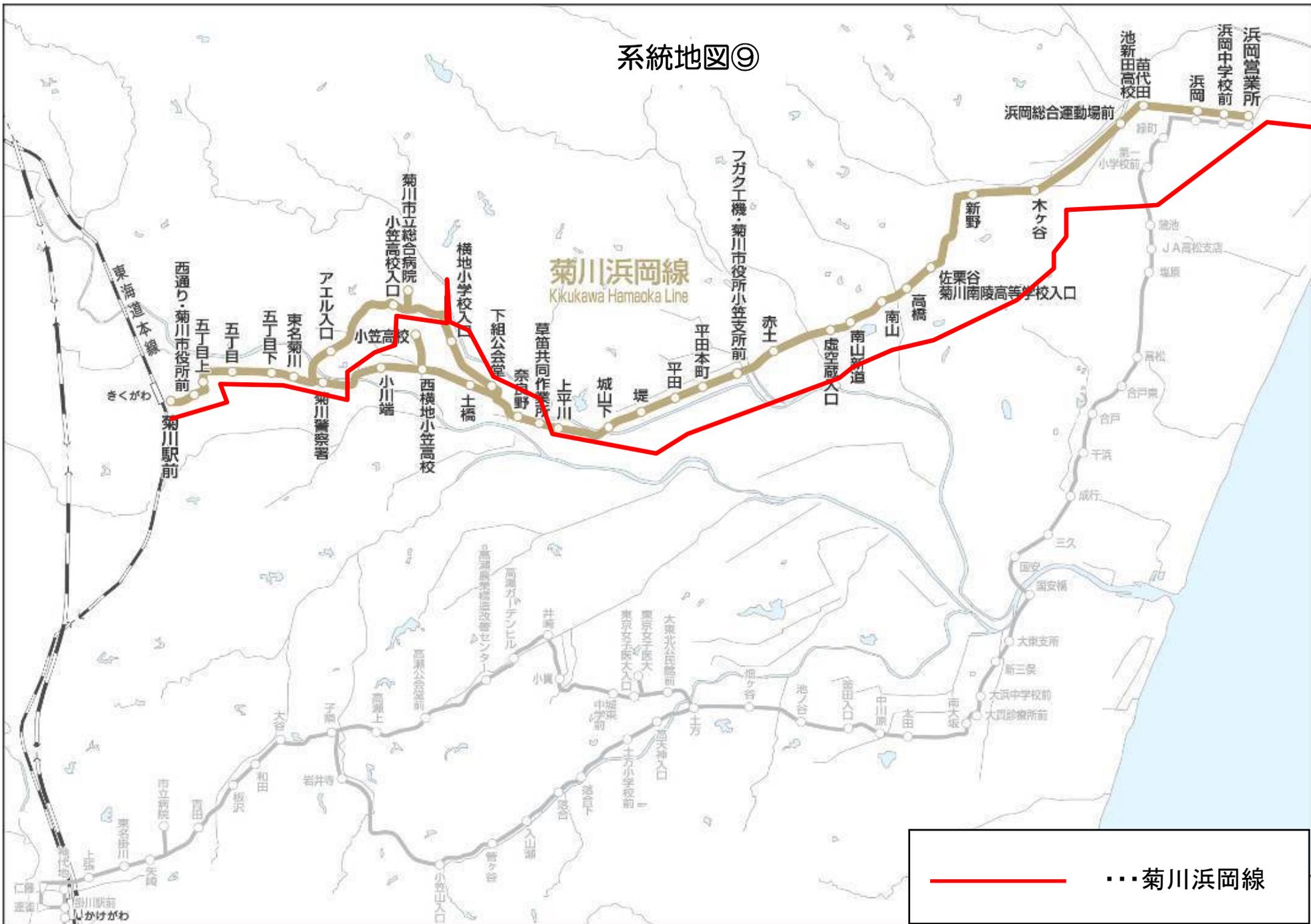
	…島田静波線①
	…島田静波線②

系統地図⑧



系統地図⑨

菊川浜岡線 Kikukawa Hamaoka Line



— 菊川浜岡線

